

平成24年10月1日

各 位

公益財団法人 富山県ひとつづくり財団

理事長 石 井 隆 一

第30回「とやま賞」の推薦について（依頼）

爽秋の候 各位にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から当財団の事業の推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、別添「とやま賞」候補者推薦要領に基づき、第30回「とやま賞」候補者（個人又は団体）を募集することになりました。

「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念して、明日の富山、ならびに日本の将来を担う人づくりをめざして設けられたものであり、前途有為な方々を表彰し、その活動を奨励するものであります。

つきましては、ご多用中のこととは存じますが事業の趣旨をご理解いただき、第30回「とやま賞」候補者を、ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

第30回「とやま賞」候補者推薦要領

1. 「とやま賞」の趣旨

現在の活動実績がすぐれ、かつ、富山県ならびに日本の将来を担うにふさわしい前途有為な人材の育成に資する。

2. 候補者の条件

- (1) 富山県出身又は富山県内在住のもの
 - (2) 学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツ等の分野において、すぐれた業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人又は団体
- ※ なお、年齢は原則として45歳(平成25年5月9日現在)までとするが、人文・社会科学系についてはこの限りではない。また、大学・研究機関等にあつては准教授クラスまでとし、教授は含まない。

3. 提出書類等

- (1) 第30回「とやま賞」候補者推薦書
 - (2) 財団が特に指定する提出資料(別紙)
- ※ なお、提出資料の様式は、財団のホームページよりダウンロードが可能である。ただし、Eメールでの提出は、受け付けない。

4. 推薦締切

平成24年11月22日(木) 必着

5. 送付先

(公財)富山県ひとづくり財団 事務局あて
〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1
富山県教育記念館2F

電話 076-444-2000
FAX 076-444-2001
E-mail toyama@t-hito.or.jp
ホームページ <http://www.t-hito.or.jp>

6. 選考、発表

- (1) 本財団で候補者の将来性、独自性、国際性などの観点から慎重に審議して、受賞者を決定する。
- (2) 受賞者の発表は平成25年4月の予定

7. 表彰

- (1) 受賞者には奨励金として100万円を贈呈する。
- (2) 贈呈式は平成25年5月の予定

※候補者・推薦者の個人情報については厳重に管理し、「とやま賞」以外の目的には使用いたしません。

(別紙)

財団が特に指定する提出資料

1. 学術研究の部

- (1) 推薦の根拠となる「応募業績の要旨」(別紙の様式2枚に記入)
- (2) 業績及び成果を掲載した雑誌、新聞等資料の写し (A4版)
- (3) 最近5箇年の研究論文のリスト及びこれらのうち代表論文5編全文の写し (A4版)
 - ア 論文の著者名は原論文のとおり記入すること。
 - イ 共著の場合は、自己の氏名の下に線を引くこと。
 - ウ 代表論文5編の論文番号に○印を記すこと。
 - エ 論文がインプレスの場合、それを証明するものを添付すること。
(例：契約書の写し等)
- (4) 全国規模及び国際会議における特別講演等、主な講演のリスト (A4版)
(会議名、主催者名、演題、期日、会場等)
- (5) 科学研究費助成及び公的財団の助成のリスト (A4版)
(候補者が、代表者か分担者かを明記すること。)

2. 科学技術の部

学術研究の部(1)から(5)までに準ずる。ただし、(3)については、研究論文にかえて又は加えて公表文献(応募業績に係るもので公表年次は不問)、特許など業績内容を紹介する資料等を提出することができる。

3. 文化・芸術の部

学術研究の部(1)及び(2)に準ずる。ただし、これらに加えて、業績内容がわかる作品又は図録、著書、CDなどの著作物を提出することができる。

4. スポーツの部

活動内容・業績、記録等のリスト及びそれを掲載した資料の写し (A4版)

5. 各部門共通事項

- (1) 財団が指定する提出資料以外に適当な資料(著書等)があれば、別途添付しても差し支えない。ただし、人文・社会科学系の候補者が、その著書を提出する場合は、できるだけ2冊提出すること。
- (2) 提出書類は、原則として返却しない。ただし、書籍、CD、DVD等について返却希望があれば、この限りでない。